

# はなむけの言葉

やわらかな春の日差しを浴びて花々が鮮やかに咲き始め、春の訪れが感じられるようになりました。

桜の花が咲き誇る本日、甲府市並びに甲府市教育委員会を代表して 甲府市まちづくり部長

石原 修（いしはら おさむ）様をはじめ、PTA 本会役員様のご臨席と保護者の皆様のご出席を賜り 令和四年度 甲府市立石田小学校の卒業証書授与式が挙行できますことを心から厚く感謝申し上げます。

希望あふれる今日の佳き日に、第四十六期生として羽ばたこうとしている三十八名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

ただ今、卒業証書が無事お渡ししました。卒業証書を受け取るときの皆さん一人一人の力強さと真剣なまなざしから六年間の大きな思いと明日からの厚い決意を感じました。大きな思いは人生の土台となり、厚い決意は次の一歩を踏み出す勇氣となります。今日このときの思いを忘れずに次のステージに向け、確実な一歩を踏み出してください。

石田小の最上級生として歩み続けた今年一年間はコロナ禍でありながらも、六年生全員がいつも明るい笑顔で前向きな姿を見せてくれた石田小を代表する立派な存在でした。児童会スローガ

ン「明日もHAPPY オレンジスマイル」のもと展開された笑顔溢れる【あいさつ運動】、レッツプレイデー、笑顔の花あふれて咲け、に全校で取り組んだ【きずな運動】、校内だけでなく外の世界へも目を向け取り組んだ【思いやり運動】等、

児童会本部、各委員会において素晴らしい成果を残すことができたのは六年生のリーダーシップがあつたからに他なりません。

春の大運動会、一人一役で会を運営するとともに五年生と一緒に発表した表現演技。青空と一体になつたフラッグのはためく音は今でも忘れることのできない記憶となつて心の中で鳴り響いています。

秋のゆうきまつり、各教室からあふれ出るオンラインスマイルは、六年生の頑張りの象徴、その取組は下級生に受け継がれていくでしょう。

修学旅行、陸上記録測定会などの学年の行事においても、自分たちで考え行動し、励まし助け合つて、最高の思い出を作ってくれました。

行事一つ一つに真剣に取り組んだ日々。その中で皆さんが一回りも二回りも大きく成長した姿を頼もしく感じます。

緊迫する世界情勢の中、急速に変化する社会は多様性を求めながら、複雑で予測困難な時代へと突き進んでいきます。その中を生き抜いていかな

ければならない皆さんに次の行動を提言します。  
「自分自身」を表現しましょう。AIの発達やICT機器の普及に伴い、直接ふれあいながらコミュニケーションを取る機会が乏しくなります。嬉しいときにはともに喜び、ともに楽しむ、怒るときにはともに怒り、ともに悲しむ。そんな「喜怒哀楽」を素直に表現できる集団の中を生きること  
で仲間をつくり、困難な状況でもあなたを支えてくれる人間関係を築いてください。多くの人と接  
することで生まれる人間関係はこれからの人生  
における財産の一つです。予測困難な社会を生き  
抜く為にも「自分自身」をしつかり表現していっ  
てください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠  
におめでとうございます。これまで本校の教育活  
動に賜りましたご支援・ご協力に、心から感謝申  
し上げます。これからも、お子様が健やかにたく  
ましく成長されますよう、お祈り申し上げます。  
ご来賓の皆様には、ご多用の中、ご臨席をたま  
わり心よりお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよお別れです。とても寂しいお別れですが、新たな出会いのための旅立ちです。別れを喜びに変え、歩み出しましょう。皆さんの将来が素晴らしいものになることをお祈りして、はなむけの言葉とします。

令和四年 三月二十二日

甲府市立石田小学校

校長 七澤 聡